

1 提案者 鹿住 颯良 (大桑中)

2 提案内容

(1) 2年 道徳 内容項目「自然愛護」

(2) 利用した番組 SEED なやみのタネ

「柴田さんのなやみ ～ごみ拾いの面白さが伝わらない～」

(3) 授業のねらい

中学2年生で臨海学習を体験し、木曽川の水が愛知県の日間賀島まで流れ、様々な用途に使われていることを学習し、環境を保全することの重要性を学んだ生徒が、改めて自分たちの周りの生活環境について考える場面で、本番組を視聴しながら、ゴミの問題について考え、それぞれが疑問に感じたことを追及したり、互いの追求の様子を共有したりすることを通して、環境を大切にすることについて自分の考えを見つめ直すことができる。

(4) 授業の実践記録

段階	学習活動	児童・生徒のようす	指導・助言	備考
導入	○事前アンケートを共有しながら互いのゴミ拾いの経験を共有する。	・そんなことを考えながらゴミ拾いをしてたんだ。 ・教室のゴミならすぐに拾えるけど、通学路のゴミはその場では拾えないなあ。		
展開	○補助発問：ゴミ拾いは何のために行うのだろう。			
	○動画を視聴して感想を話し合う。	・ゴミからすごい作品が出来上がっていてすごいな。 ・ゴミで作品を作ろうって考えたのがすごいな。 ・ワークショップもやってるんだね。面白そうだな。	生徒のゴミ拾いに対する気持ちと、柴田さんのゴミ拾いに対する気持ちの違いを確認しながら意見を聞く。	NHK for school「柴田さんの悩み」を全て再生する。
	○中心発問：動画を見て自分が疑問に感じたことを追求してみよう。			
まとめ	○動画やこれまでの経験をもとに自分が「ゴミ拾い」や「ゴミ問題」について疑問に感じていることについて自分なりに考えてみる。	・どうしてゴミ拾をするんだろう。 ・柴田さんはどうしてゴミ拾いを楽しく続けられるのだろう。 ・ゴミ拾いにはどんな価値があるのだろう。	自分で問を考えられない生徒には柴田さんはどのようにゴミ拾いに向き合っていたのかを考えるように促す。	ロイロノートで自分の意見を記入することで全員の考えが見えるようにする。
	○各自の追求内容を班で共有する	・ゴミを捨てる人がいるからどんどんたまっていった。 ・ポイ捨てする人を減らす取り組みはやっているのか気になる。 ・ゴミ拾いをするのは大切だしこれからも続けていきたいと思いました。	班で互いの考えを共有することで、自分にはない考えに出会い、人に説明する中で自分の考えをより明確に自覚できるようにする。	
	○本時の振り返りを互いに共有する。			

『柴田さんのなやみ ～ゴミ拾いの面白さが伝わらない～』

2年A組

問い
ゴミ拾いにはどんな価値があるのだろうか？

ゴミを拾う理由

- ゴミを減らすこと
- いいことと悪いことを分ける
- ゴミ捨ててしまおう人
- ゴミ拾いをする人
- ゴミを減らすこと

メモ（友だちの考えなど）
【自分の考え】
ゴミ拾いをすることで、気持ちよく生活できるよ
うになったり、なんともないいいことをした気分
になったりと思う。さらにゴミ拾いを楽しめる
ようになったら、その価値はさらに上がつってい
くと思う。
【友達の考え】
○なんでこんなにゴミが増えていくのか
○誰かが拾ってくれるしょ・分別めんどくさ
い
○自然に分解されてしま
○ボイ捨てする人としんない人、ゴミが多いとこ
ろ、少ないところの意識や考えの違いは何だろ
うなけり
ゴミ拾いを面白くするためには？

本時の振り返り（もっと考えてみたいことや疑問、自分の考えの変化や再確認等）
ゴミ拾いも大事だが、わたしはまずボイ捨てをしてしまう人を減らしていくことが大
切だと思う。→ボイ捨てする人はなんでしてしまうのかを知る。

[illegible]

(5) 考察

- ・「ゴミ拾いを楽しむ」、「ゴミから芸術を生み出す」という方を番組で取り上げられており生徒にとって新たな価値観に気づくことができていた。その中からゴミはゴミとしか見ていなかった生徒も「ゴミ」への価値観が変わったと振り返っている姿もあった。
- ・番組をもとに、自分が気になった部分について個人追究を深め最終的に班で共有したことで様々な切り口から今回の内容項目である「自然愛護」について考えることができていた。
- ・柴田さんの活動を知ってゴミ拾いについても取り組み方は一つじゃないということに気づき自然と友と意見交換をしている姿あった。

(6) 番組への要望

- 実現可能かわかりませんが、道徳の教科書に載っているお話を題材に番組が作られると、より授業で取り入れやすくなります。
- 番組のタイトルに内容項目を入れていただけると授業を作る際に助かります。